

## 第51回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

ゼミ名	永廣ゼミ	チーム名	エヒロアキラ 100%
タイトル	日本が世界一幸福な国になるには		
テーマ群	c) 公共政策、g) その他		
メンバー	飯野旗一 大久保篤 黒岩仁史 西崎武甫 行守遥		
研究計画内容	<p><b>【研究の目的】</b></p> <p>日本は数ある国の中でも比較的治安が良く、平均賃金も高く、福利厚生やインフラが整っていて、日々安定した生活ができる珍しい国である。しかし、世界幸福度ランキングでは2020年に62位、2021年に56位と、先進国の中では断トツで低い。幸福にはいろいろな判断基準があるが、この世界幸福度ランキングでは一人当たり国内総生産、社会保障制度などの社会的支援、健康寿命、人生の自由度、他者への寛容さ、国への信頼度の6項目において順位を定めている。ランキング上位国はその要因として、社会保障の手厚さ、質の高い教育、ジェンダー平等などが挙げられ、下位国では貧困問題や健康寿命の低さが原因となっている。そんな中、日本は一人当たりの国内総生産や寿命の長さでは上位にあるにもかかわらず、どうしてこれほどまでに順位が低いのかと疑問を持ち、研究したいと考えた。</p> <p><b>【研究の内容】</b></p> <p>本研究では、日本が幸福度ランキングにおいて特に順位が低いとされる人生の自由度、他者への寛容さについて調査し、国の制度から個人の習慣や性質まで広い視点をもって、日本に暮らすにあたっての不満点を検討していく。また反対に2020年から2021年にかけて順位が上昇したのはどんな要因があるのか、2018年から4年連続で1位を記録し続けているフィンランドとの違いについても調査し、その結果から活かせる改善点を探していく。そうして日本の幸福度が低い原因を解き明かし、これからどうすれば日本人が幸福に暮らしていけるのかということを考察していく。</p> <p><b>【期待される成果】</b></p> <p>日本の幸福度が低い原因を調べることにより我々が何について幸せを感じているのか、その背景には何があるのかについて知ることができる。またこれから少子高齢化が進み、超高齢化社会を迎えるとされる日本において日本人全員の幸福度を上昇させていくために何が変わればいいのか、我々はどう暮らせばいいのかを導き出すことができる。</p> <p><b>【参考文献】</b></p> <p>エレミニスト編集部「【2021年】最新世界幸福度ランキング 日本の順位とその理由は？」 <a href="https://elemminist.com/article/1184">https://elemminist.com/article/1184</a> (2021年10月20日(水)閲覧)</p>		